

## また配電盤で火花発生！ 車両火災の恐れも！ 労働災害の恐れも！

8月22日、C42編成15号で空調故障が発生し、車掌が調査したところ、CPN21から23がトリップしており、指令指示で又入れを行ったところ火花が発生した模様です。この事象は車両火災の恐れもあり、乗務員・乗客の生命にもかかわる重大な事象です。また、担当した車掌にやけどなどの労働災害の恐れがあったものといえます。8月9日のC49編成の配電盤発煙事故もあり、非常事態といえます。JR東海労新幹線地本は、安全上重大なことと認識し、会社に申し入れを行います。

## プレス発表の前に、 社員、労働組合に説明しろ！

8月24日、会社は、C49編成の配電盤発煙事故について、原因と対策が明らかになったとし、プレス発表をしました。原因は「配電盤内の配線で過電流が生じた際に、空調装置のうちの空調圧縮機ブレーカーの故障により、過電流を遮断できなかったため」。対策は、「空調圧縮機ブレーカー約9200個をはんだ強化型のブレーカーに取替え」「空調圧縮機ブレーカー負荷側端子部及び喚起装置ブレーカー電源側端子部の絶縁強化」ということです。

会社は、事故の原因を突き止め、対策をたてましたが、プレス発表する前に、事故や故障に対し、額に汗して現場で働いている社員と申し入れをしている労働組合に説明するのが当たり前のことではないでしょうか。私たちJR東海労新幹線地本は、安全で明るく働きやすい職場環境をつくるため最先頭で闘っていきます。